

総領事からの活動報告(2013年6月)

＜第10回フロリダ日本サミット、公館長表彰他＞

在マイアミ日本総領事
川原 英一

6月上旬、タンパ地域に出張し、南フロリダ大学(USF)で開催されたフロリダ日本サミット会議に出席、併せて公館長表彰を行いました。また、1981年に昭和大学関係者のご尽力によりフロリダで最初の独立医学研究施設として創設されたタンパベイ リサーチインスティテュート(TBRI)を訪問。今月25日には当地日系企業団体との共催セミナーもありましたので、簡単に御紹介を致します。

◆第10回フロリダ日本サミット会合(USF)

6月7日、南フロリダ大学(USF;タンパ)において第10回目のフロリダ日本サミットが、日米南東部会フロリダ支部とUSFの共催で、同大学会議場にて開催されました。前日、トロピカルストームがフロリダ州の半島西側を通過して各地に大雨を降らせた影響から、一部予定参加者が参加できない事情もありましたが、サミット会議には、USFフルブルック副学長、同クルメット副学長補、フロリダ州開発公社メンシア上級副総裁、シュニットマン森上美術館トラストボード副理事長、ハイザー ペンサコーラベイ地域商工会議所会頭、木村アトランタJETRO事務局長、南東部会事務局長ウッドワード氏をはじめ70名あまりの出席がありました。USF副学長及び副学長補の開会挨拶に続き、当方から最近の日フロリダ関係を取り巻く日米経済関係、次世代交流等の現状などについてパワーポイントによるプレゼンを行い(右上写真)、フロリダ開発公社のメンシア副総裁からは日フロリダ関係の重要性和今後のさらなる関係強化を図りたいとの趣旨発言があり、その後のビジネスパネルでは、タンパベイ貿易振興協議会ウィルキンソン専務理事、グレーター ペンサコーラ商工会議所ハイザー会頭から、日本とのビジネス関係構築の秘訣などのお話があり、木村ジェトロアトランタ所長からは、投資貿易促進及び企業支援活動に関するプレゼンがありました。教育文化パネルでは、森上美術館庭園トラストボード第一副理事長シュニットマン(FAU)教授から、戦後日本の民主的教育改革、教育基本法に大きな影響と貢献のあった故マーク オー(Dr. Mark Taylor Orr)元USF教授に関するスピーチ、また大谷先生(元USF日本語講師)による日米文化、慣習の相違について、滞米50年の経験に基づくプレゼン(「Invisible Japanese」)があるなど、大変に興味深い発言が続き、充実した内容の会議でした。



◆USF前日本語講師大谷先生への公館長表彰の実施

フロリダ日本サミット会合開催の前日、6月6日夕から同サミット関係者に対する歓迎レセプションが同じUSF大学内であり、地元大学関係者、会議出席者、地元ビジネスマン等約70名が参加しました。同レセプション



の機会に、当方から、今学期で大学を退職された大谷武登(たけと)前USF日本語講師(左写真)に対して、長年にわたる大学に

おける日本語、日本文化普及、地元での日本関連イベント等へのボランティア活動など顕著な功績に対して、公館長表彰の授与を行いました。(スピーチ内容；

http://www.miami.us.emb-japan.go.jp/documents/cggreting_20130606.pdf)。大谷先生からは、身に余る光栄ですとの御挨拶がありました。(右写真；左端から2番目は、大谷Rachel夫人、3番目が大谷先生)



◆タンパベイ研究所(昭和大学との共同研究拠点)

6月6日午後、セントピーターズバーグ市にあるタンパベイ研究所を訪問し、田中所長他の関係者の皆様とお会いし、1981年に昭和大学医学部の米国研究拠点として同研究所が創設されたこと、その後の研究成果などについて、お話を伺うことができました。特に松笠から抽出されたエキス(pine corn extracts)には、体の免疫力を高める効果があることが、古くから知られており、同研究所は、この抽出エキスがアレルギー諸症状改善、アルツハイマー症、がん治療にも効果があることを解明しておられると伺いました。NHI(米国国立衛生研究所)からのグラント、地元からの寄付、サプリメント販売収入などで資金を確保し、研究所創設から30年以上にわたり、営々と研究活動をされておられます(上写真の右端から4人目が田中所長)。



30年以上にわたり、営々と研究活動をされておられます(上写真の右端から4人目が田中所長)。

動をされておられます(上写真の右端から4人目が田中所長)。

JBA共催ビジネスセミナー

6月25日夕、日本商工会(JBA)と当館共催のビジネスセミナーが当方公邸でありました。今回はJBAメンバーの方々の希望の最も多かったアルゼンチンの最近事情について、在アル

ゼンチン日本大使館の正影書記官を講師にお迎えして、パワーポイントによる大変に充実したプレゼンと質疑応答がありました。その後、フロリダ開発公社の JBA メンバー入りを記念して、スオープ(Swoope)フロリダ州商務長官(左下写真)から日本とフロリダ貿易投資関係等に関する



る 15分あまりのプレゼンがありました。フロリダ州の人口が19百万人ですが、9 千万人を超える観光客が昨年フロリダを訪問していること、税制面などビジネス環境として恵まれ、航空宇宙、クリーンエネルギー、バイオ産業などを中心とした経済の規模は、世界の上位 20 カ国内(当館注; 世界 18 位、7770億ドルでオランダ経済規模を上回る)に入ること、日本の投資が活発であったこと、また、今年 11 月上旬、フロリダ州スコット知

事を団長とした貿易投資ミッションの1週間程度の日本派遣を予定しているのご披露もありました。当方よりは、日本、フロリダとアルゼンチンの古くからの絆、州内の注目日系製造企業の例、日米次世代交流プロジェクトなどについて、ご紹介を致しました。(了)

※「総領事からの活動報告」は、今回が最終回です。